

私書箱

〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

AA日本ニュースレター



AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-590-5377 〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F



No.25

ワールド・サービス・ミーティングに出席して

WSM評議員 / J S O 山本

21カ国の評議員が参加してミュンヘンで開催されたワールド・サービス・ミーティング(以下WSM)に、各地のAAグループのご協力を得て、日本からも後期評議員の鈴木とともに出席してまいりました。

WSMというと、どこか遠くでやる難しい偉い人たちの集りというイメージが私の中にあり、これまでの報告書をいくら読んで、今一つ実体がかめず、不安のままに出席しました。更に大きな不安は言葉のことです。私にとって何とか耳に馴染んだ英語というのは大体が『標準英語』でしたが、各国語の独自のイントネーションを伴う英語は聞き取るのが至難の業で、各会議が終わるたびに一人ひとりに確認をしなければならず、情けない思いを重ねてきました。前置きが長くなりましたが、そんな中で感じとった事の報告をさせていただきます。WSMでは、世界的なレベルでのAAのメッセージ活動についても話し合われますが、ごく身近な各グループが抱える日常の問題についても、かなりの時間をかけて経験が分かち合われます。そして、AAに関する限り、国が違って、グループでの問題は全く共通しているというのが実感です。今回のメインテーマの12の概念にしても、メンバーにとっては上の方の人が読むもので、馴染みのないものという受けとめ方がどこの国でも共通していて、WSMの直前に付け焼き刃で『概念ワークショップ』を開催したわが国に、みんなから驚嘆の声が上がり照れてしまいました。私は12の概念に理解が至っていないのは日本だけだと思っていましたから。

この12の概念でも、特に私たちが留意していく必要のある『決定権』『参加権』『アピール権』という三つの権利については、どのサービスレベルでも行きわたっていきべきものとして、その重要性が再確認されたのですが、この点については別の機会にもっと詳しくお知らせできたらと思います。

非常に身近な部分としては、グループの経費とはどこまでを指すのか、パースディのケーキはグループの経費として考えてよいのか、メッセージにかかる交通費の問題は、ミーティング場を無料で提供してくれる機関にはどういう形で使用料を払ったらよいのか、アルコールの問題を持たない依存症者にはどう対応した

らよいのか等々、どこのグループでも話題になるような問題について活発な経験の分かち合いが行われました。その詳しい内容につきましては、後日『WSM報告書』としてまとめるつもりですのでどうぞ宜しく。

また、広報活動や専門家との協力についても話し合われましたが、広報活動といっても、AAの存在が広く一般の人たちに知られている他の参加国と、まだ限られた専門期間にしか知られていないわが国とではいぶん事情が違っていました。専門家協力でも、その対象が企業のソーシャル・ワーカー、経営者団体や組合であり、またEAP(従業員援助プログラム)とどう協力したらよいのかなどという話では、ただ耳を傾けるだけでした。刑務所内のAAグループなども、我が国では壁が厚く、ほとんど手が付けられていない状況ですが、遠い道のりながらも歩みを進めていく必要のあることを、他の国の経験によって気づかされました。そしてこのような広がりの中でAAがどう役立っていけるかは、AAがAAのことをやっていくこと、未来のAAの役割を常にAAが果たしていくことがどれほど重要かが再確認された次第です。

一方、世界的なレベルの方では、経済的な理由や政治的な理由でまだAAの出版物を自国語で発行できない国に向けて、その国の言葉の本を出版することについては、これまでアメリカ・カナダのAAに全面的に依存していたわけですが、これからは世界のAAの責任として、国際的な基金を設立しようという提案が出され、今後具体化に向けて話し合いが継続されることになりました。

5日間にわたり、連日夜の10時まで続けられたこのWSMの最終プログラムでは、各国語で小さな祈り(セレンティ・プレイヤー)がそれぞれ唱えられましたが、私の順番が回ってきたとき、泣き出さないように自分を保つことで精一杯でした。出席した評議員全員で、ただ、AAにとって何をしたらよいかだけに頭を集中させたこの数日間、AAの原理が大好きな私にとって、AAのことだけを考えていられたこの数日間に得た宝によって、大きな力が与えられました。与えられたものを次の人に手渡すために、各地で報告の機会が与えられる事を願っています。

第二回ゼネラル・サービス・ ミーティング開催さる

1990年11月23日24日25日

会場 ホテル B & G

第二回日本ゼネラルサービスミーティングが11月23・24・25の三日間にわたり、全国各地から選出された地域評議員を主体に、オフィス幹事、ワールドサービスミーティング評議員、オフィススタッフ等のレギュラーメンバーと多くのオブザーバーの参加を得てホテルB & Gで開催されました。今回はミーティングのテーマを『グループに活力を』としましたが、その経過については前号のニューズレターに、関東地域評議員のH・鈴木の意見として掲載されましたが、全国から集まった評議員が口々に『これこそ今自分の地域が抱えている最大の問題』とこのテーマが選ばれたことに賛同を示してくれ、このテーマが誠に時宜を得たものであったことに改めて私達関東地域評議員の独りよがりでなかったことに安堵致しました。23日の午後には北は北海道、南は九州・沖縄からのメンバーが続々と顔を揃え、そちらこちらに再会の喜びの言葉が飛び交う中、恒例のオープンミーティングが開かれました。しかもそのテーマは『笑い』。和やかな雰囲気はいやがうえに盛り上がりました。初めて顔を合わす仲間も多いのに、ミーティングは相互に理解し合った一体感が充満し、十年の知己の集まりでもこれほどの一体感を如実に現すことはできないだろうと誰もが感じるものでした。ミーティングの後にはウェルカムディナー、用意されたテーブルに座れば、そこがまた新たなミーティング場となり、また新たな知己を得て明日のサービス活動の原動力が生まれて行くのが目に見えるようでした。『話が御馳走』、前回のミーティングでもこんな言葉が聞こえましたが、夢中で話し合ううちに時間だけはどんと過ぎて行き、気がつけば次のプログラム、ワールド・サービス・ミーティングの報告会の開始が迫っているという有り様でした。このニューズレターでも呼びかけましたが、全国の皆様からの理解ある賛同のもとに集められた特別献金によって、ドイツのミュンヘンで10月14日から4日間にわたって開かれた、ミーティングに参加した、T・鈴木氏と山本さんの二人のWSM評議員が全国の仲間への報告の皮切りとして、自分の肌で感じた世界の

AAの現状と、代表として分かち合ってきた世界中の仲間からの経験と希望を伝えるために、このミーティングは企画されました。この報告からもAAはどこへ行ってもAAなのだと言う一体感を強く感じさせられました。これで当日のプログラムは完了したものの、メンバーは席を立たずにまだ談笑を続けていて、翌朝聞いてみるとほとんどの仲間がおしゃべりだけで午前様と、いかにもAAらしいと又感じさせられました。

翌日は午前中全国の仲間が自分の地域の現状を報告することから始まりました。ホームグループ、メッセージ、スポンサーシップとテーマを絞り報告を求めたために、各地域の抱えている現状が浮き彫りになり、非常に有意義な報告会となりました。やはり地方には地方としての問題があり、都会には都会の問題がありながら、メッセージを運ぶというグループとしての使命に対する理解は同じで、それぞれが工夫をこらし努力を続けていることが認識できました。午後はこの一つ一つのテーマを取り上げたディスカッションミーティングが開かれましたが、ここでも熱心な発言が飛び交い、多くの価値ある提案を皆が持ち帰れたことと信じられるものでした。

夕食を挟んで分科会が開かれましたがここでも皆は熱心な討議を繰り返し、共通の問題を持ちより一歩でもAAを前進させようという熱意が会場に満ち溢れ、予定された終了時刻を過ぎてもなお討議は続くのでした。翌日、この分科会で討議された内容に基づく提案が各委員長から発表され、採決を全メンバーに仰ぎましたが、ここでも自由意志に基づく論議が繰り返され、採択されたもの、内容を変更されたもの、採択を見送るものと分かれてきましたが、これらの結果については報告書が発行されることが決定しているので、そちらをお読みいただくことをお薦め致します。こうして3日間にわたるゼネラルサービスミーティングは無事終了しましたが、ここで出され、討議された提案が評議員を通して各地に持ち帰られ、新しい息吹を全国のAAに吹き込むことにより、また新たな発展が加速されることを強く望むものであります。

オフィスの幹事会のこと これからの方針

最近、関東地域のAAの方々、少しオフィス幹事会の内容に関心を持っていただき、全国AAの方々も名称には書類で触れたことがあるかも知れません。まずその内容について概略説明致します。

毎週第三日曜日、午前十時より十二時頃までJ S Oのそばの『瀧沢』でオフィス幹事が集い、J S Oの運営とAA共同体全体について話し合います。

メンバーは市川、瀧沢、伊野、青山、鈴木、山本、林ともう一人、体制監査にノンアルコールの方をお願いし、関東地域の総務委員長に書記をお願いしています。議事録はJ S Oに保管しいつでも観覧することができますが、関東地域の月間ダイジェストと、この日本AAニューズレターに要点を載せていきます。9月・10月のオフィス幹事会の討議事項は次の通りです。

一、WSMのニュースリリースを厚生省記者会等に配布し、全国新聞のいずれかに掲載される機会をうかがう。二、厚生省への情報提供と一歩進めた連携方法の模索。三、医療、市民団体との連携。四、貯蔵品の評価方法、事業費と一般管理費のバランス等、会計処理上の問題。五、300万円借り入れの礼状送付のこと。以上9月

一、《アルコール医療研究》に載った『十五周年を迎

えた日本のAA共同体』の別刷りをJ S O会計負担で発注、『AAの外の世界に個人意見を含んだ小文を載せること、アノニミティのこと等問題点を託した挨拶文』を添えて、各グループ代議員、サービス関係者に発送する。二、英語版AAの『日々の黙想』が出版された、すぐ翻訳に取り掛かる。三、ボックス459(アメリカ・カナダのニューズレター)に十五周年に来日したドンの手記が載っている。ニックネームや姓だけを名乗る日本だけのAA文化や正確な日本AAの現状を伝えている。四、WSMのニュースリリースの新聞掲載は不調に終わったが、厚生省記者会のメンバーとの交流をはかっていく。五、1991年度の予算案、事業計画案を作成後、12月のオフィス幹事会で討議する。六、オフ幹と評議会メンバーとの関係をしっかり把握し、第三回のG S Mはオフ幹がリーダーシップを取っていく。

オフィス幹事会は理事会ではありません。その理事会は今の日本AAにはありません。オフィス幹事会はJ S Oの運営を主たる業務としており、AA共同体全体に関する、本来理事会の担当すべきことを代行している訳です。いつでもお問い合わせに応じます。J S O林までお電話ください。

お知らせ

三多摩南ヤングミーティング

今年の9月4日に、国立にヤング・ミーティングが始まりました。他地区のヤングミーティングに影響を受け、地区や地区のAAメンバーの理解のもとに産声を上げました。当初から城南ヤングの応援を受け、現在ではメンバーも定着し活況を呈しています。

今日返はミーティングの維持のみが目標でしたが、今後は若者による若者へのメッセージに力を注いで行く方針です。具体的には若いアル症との関りをもつ為に専門機関へ働きかけていきます。

ミーティングの特徴としてダブルグローストです。また若いアル症にも安定したソーバーの基礎作りのため、ホームグループ、スポンサーシップ等の重要性を伝えています。尚、最終火曜日はオープン・ミーティングです。特に専門家の参加をお待ちしています。



時間は毎週火曜日 PM 7:00 ~ 8:30で、会場は国立市中1 15 3、国立公民館です。

関西ヤング・ミーティング

大阪でもヤングのミーティングが開かれております。会場はカトリック北浜教会で、第二、第四の水曜日 PM 7:00 ~ 8:00です。関心をおもちの方はK C Oにお問い合わせください。

KCO (AA関西セントラルオフィス) からのお知らせ

1982年12月に現住所にオフィスを開所して以来、足掛け7年間AA関西地域のサービスの拠点としてご活躍して頂いた大塚氏はこの9月末を以て退任いたしました。長年にわたって各方面の関係機関、並びに各グループの方々の当人へのご支援、ご協力を紙面をお借りし、改めて深謝申し上げます。

あくまでも非職業的ではありますが、AAの三つの遺産である、回復、奉仕、一体性を基にハイパーパワーと仲間から与えられた仕事として、責任をもってAAの主要目的の為に、微力ながらお役に立つよう努力する所存です。従来同様皆様方のなお一層のご指導ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◇91年3月8日(金)~10日(日)

91関西AAラウンドアップ in 六甲山

テーマ あそぶ (笑ってソブラエティー)

場所 YMCA六甲研修センター
 費用 参加費 3,000円 宿泊費 7,500円
 問合せ AA関西セントラルオフィス ☎06-453-3206



東北セントラルオフィス誕生

東北にも「AAの窓口」の必要を感じ始め、そしてオフィスの設立をと声が出てから一年余り、毎月コツコツと集めて来ていた各グループからのオフィス設立基金も目標額にほぼ達成(?)、場所も結構静かな中心地、そして専従職員も大もめに大もめの結果何とか決まり、10月10日東北セントラル・オフィスがスタートしました。何も分からず、しょっちゅう脱線しづつかり合いながらも、我々の唯一の

目的は まだ苦しんでいるアルコール中毒者にメッセージを伝えることと皆で動いています。オフィスの機能を完全に果たすまでには時間が掛かると思いますが、AAの12の伝統に従い、今、東北セントラル・オフィスは活動し始めました。どうぞよろしくお願い致します。

〒981 仙台市青葉区柏木1-7-12 紫苑荘2F 東
 東北セントラル・オフィス ☎022-276-5210

≡JSOだより≡

〈AAグッズ販売のお知らせ〉

JSOでは、色紙用の額や、英語の小さな祈りが入ったライターやキーホルダーを販売していますがこのたびニューフェイスとしてメダル・スタンドとAAのプレートが登場しました。

メダル・スタンド 手作りの木彫りのスタンド(壁掛け形もあります)で、バースディ・メダルをはめ込むようになっています。

長方形のものが1,500円。台型のちょっと手の込んだ形のが2,000円です。

AAプレート 21cm×13.5cmのステンレス製のプレートに赤字もしくは黒字でAAという文字が大きく書かれています。ステンレスですので風雨に強く丈夫で長もちします。ミーティング場の建物の外に掛けても安心です。 2,000円

お求めはJSOで。



ニューズレター からのお願い

今、皆様にお読みいただいているAA日本ニューズレターは、AAの広報という考え方からJSOの経費で発行、発送の費用全額をまかない、無料で配布して参りましたが、出版数は増加の一途をたどり、郵送料の値上がり等も影響し、現在年間に費やす費用は総計費の中でも突出したものとなり、JSOの本来の活動を費用の面から圧迫する要因となっております。そこで今回の日本GSMに計ったところ、満場一致で有料購読にご賛同いただきました。

つきましては次号から一部70円(送料込み)でグループ毎に購入される事をお願い致します。

日本GSM 文書委員長 H・銘木